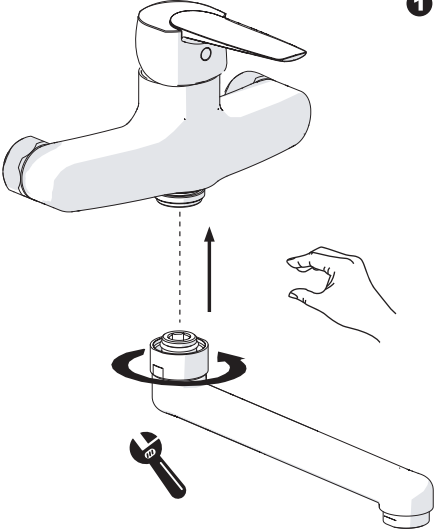
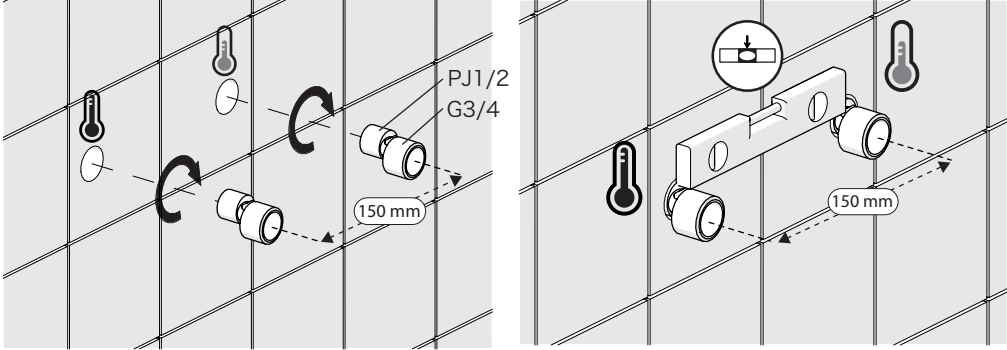


6 施工手順

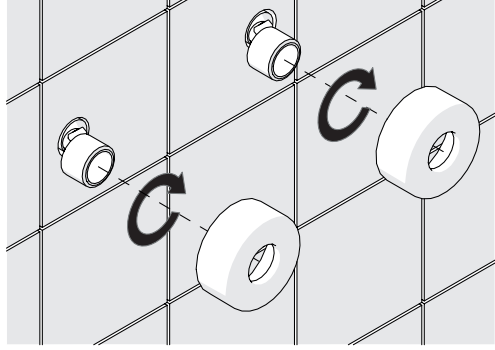
① スパウトを本体奥までしっかり押し込み、外側のリングを締め付けてください。



② 位置決め、水平取りをして水栓本体を偏芯脚に取り付けてください。ねじ部にはシールテープを巻いてください。

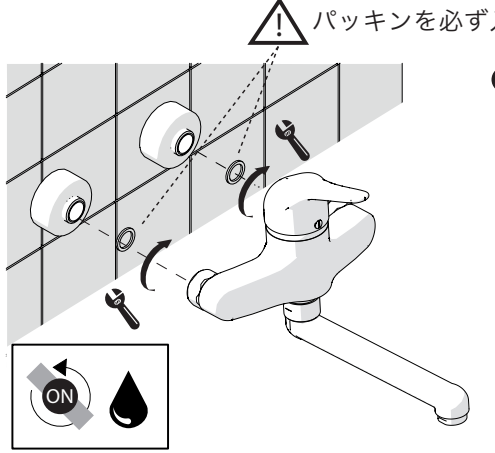


③ ワン座 (カバー) を取付します。



④ 水栓本体を偏芯脚に取り付ます。

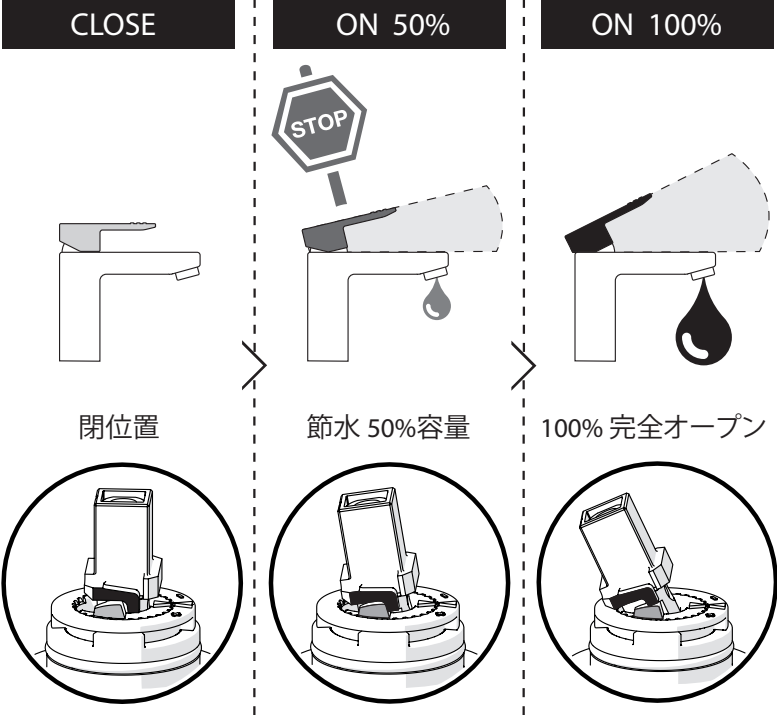
⚠ パッキンを必ず入れて下さい。



ハンドルバーの上方への動きを 2 段階で制御することで水の消費量を削減することができます。50%,100% でハンドルが重くなります。

ECO

CLOSE ON 50% ON 100%



7 メンテナンス

カートリッジの交換方法 (2 ~ 5 年に 1 回)

①

②

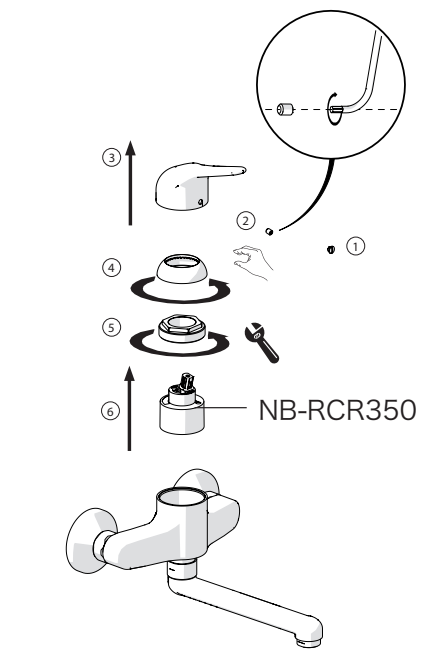
③

④

⑤

⑥

NB-RCR350



ハンドルの動きが固くなってきたり、ハンドルを閉じた状態でハンドル下や吐水口から水が漏れてきたら、カートリッジの交換時期です。

左図に従って、カートリッジを取り外して下さい。2.5mm 六角レンチとスパナ等の工具を使用します。

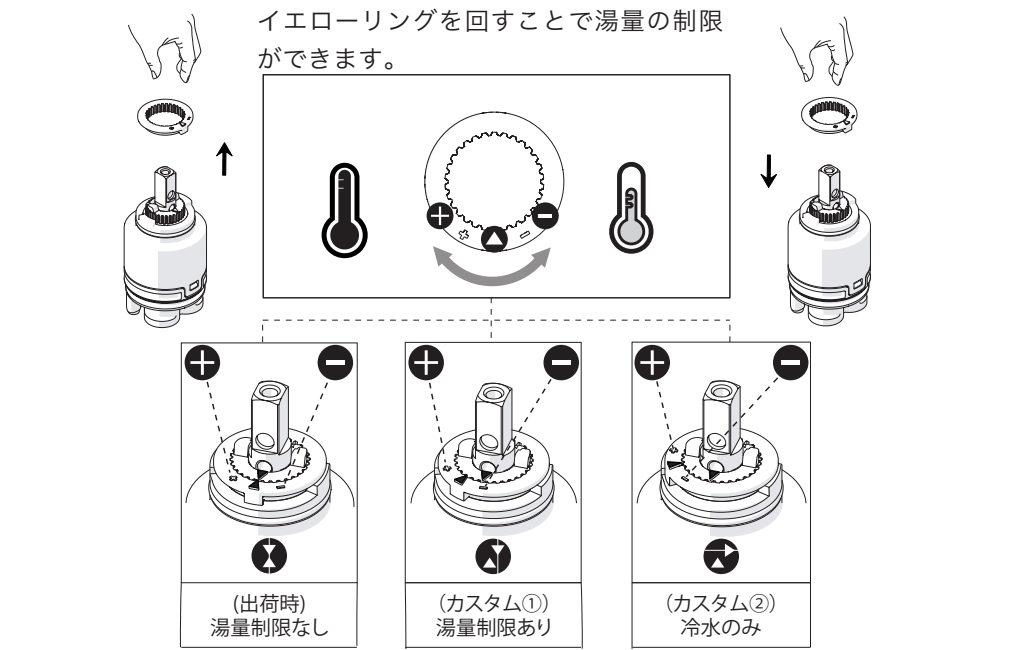
新しいカートリッジを本体にセットするときに、カートリッジ底部の 2 つの凸部と本体の穴を合わせて固定してください。

⚠ 注意

交換前に、給水管の元栓がしまっていることを必ず確認してください。

カートリッジでの温度の制限方法

イエローリングを回すことで湯量の制限ができます。

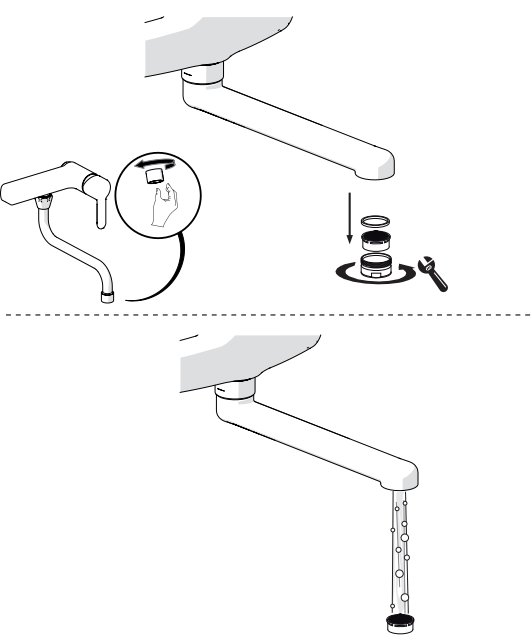


(出荷時) 湯量制限なし

(カスタム①) 湯量制限あり

(カスタム②) 冷水のみ

エアレーターの洗浄または交換 (適宜)



エアレーターにゴミがたまると水量が減ったり水流が乱れます。定期的に洗浄して下さい。

エアレーターをレンチ等でゆるめて外し、パッキンを破損したり無くしたりすることのないよう注意しながら、流水で洗浄してください。

交換用エアレーターやカートリッジはアドヴァンホームページより購入できます。

8 引き渡し前の確認

工事が終了したら、湯・水の止水栓を開け、エアレーターを清掃し、各部に水漏れがないか、動作は正常かを確認してください。

現 象	点検内容	処 置
流量が少ない	圧力は十分か？	② 使用条件参照
	止水栓は十分開いているか？	流量の調節
	エアレーターにゴミ詰まりはないか？	エアレーターの掃除
	配管途中に大きな抵抗はないか？	配管の系統を確認する
水が止まらない	ゴミかみはないか？	ハンドルと止水栓の開閉でフラッシングをする
希望の温度が得られない	圧力は十分か？	② 使用条件参照
	流量調節はよいか？	止水栓で流量の調節
水栓本体がガタつく	ゆるみはないか？	⑥ 吐水口の取り付け参照
ハンドルがガタつく	ゆるみはないか？	固定ビスを締め直す